

『理科点字表記解説 2019年版』

4刷・5刷から6刷への修正点

● 「用語の適正化」に関する修正

『理科点字表記解説 2019年版』では、従来からの用語を使用してきましたが、現在では教科書にも採用されています SI 国際単位系及び IUPAC（国際化学連合）に基づく用語に修正いたします。この修正による点字の記号や表記方法の変更はありません。

複合単位 → 組立単位

カルボキシル基 → カルボキシ基

水素イオン濃度 → 水素イオン指数

該当箇所は以下のとおりです（墨字のページ・行で示します）。

目次 第1部 2 単位 2, 5

(1) 「単位そのもの」や「複合単位の成り立ち」の説明

→ (1) 「単位そのもの」や「組立単位の成り立ち」の説明

P 7 L 11 2. 1 《注意3》

[例] pH 5. 3 (水素イオン濃度)

→ pH 5. 3 (水素イオン指数)

P 9 L 20 2. 5

(1) 「単位そのもの」や「複合単位の成り立ち」の説明

→ (1) 「単位そのもの」や「組立単位の成り立ち」の説明

P 27 L 14 (5) 《注意》

カルボキシル基 → カルボキシ基

P 31 L 17 1. 4 [例3]

カルボキシル基 → カルボキシ基

P 43 L 5 4. 1例 [例]

カルボキシル基→カルボキシ基

P 101 左 L 11 索引

pH (水素イオン濃度) → pH (水素イオン指数)

P 104 左 L 8 索引

水素イオン濃度 (pH) →水素イオン指数 (pH)